

## 授業紹介

「日英語対照研究」 谷 光生（担当教員）

この授業では、日本語と英語を比較しながら、両言語の音声・文法・意味の諸特徴を考察していきます。英語を使用する際にも役立ちます。



京都女子大学マスコットキャラクター  
ふじのちゃん



『はらぺこ あおむし』という絵本をご存じでしょうか。お腹をすかせたあおむしが、ムシャムシャといろんなものを食べ、成長し、最後に美しい蝶になるお話です。

この絵本はアメリカ人のエリック・カールによる「作・絵」で、オリジナルの題名は *The Very Hungry Caterpillar* です。絵本の中には、下のような表現が使われています。

- かようび、なしを ふたつたべました
- すいようび、すももを みつつたべました

これらの部分は、オリジナルの英文では、次ページのように表現されていますが、この英文には、なにかひっかかる場所がありませんか？ 「ate through」の部分ですが…。

この部分を、英文の意味をできるだけ反映させて翻訳すると、実は「食べて、進んだ」のようになります。



- On Tuesday he ate through two pears.
- On Wednesday he ate through three plums.

日本語では「食べて、進んだ」という意味を、英語のように一つの動詞だけ(=eat だけ)で表すことはできません。「×(なしを) 食べ進む」というもの変な日本語です。

英語は日本語と異なり、「～して、進む」という意味を一つの動詞で表すという特徴があるのです。下は簡単な類例です。



- John walks to school every day.

**○ジョンは毎日歩いて、学校に行く。**

**×ジョンは毎日学校に歩く。**

- John danced into the room.

**○ジョンはダンスをして、部屋に入った。**

**×ジョンは部屋にダンスした。**



なにが原因で、このような日英語の違いが生じるのでしょうか？ここでは詳しい説明ができませんが、授業ではみんなで深ぼりしていきます。

そう言えば、日本語では「なしを ふたつ たべた」とも言えるし、「ふたつのなしを たべた」とも言えます。

ですが、英語では「ate two pears (ふたつのなしを たべた)」としか言えません。「×ate pears two (なしを ふたつ たべた)」は変な英語ですね。

このへんも、授業ではみんなで考えていきます！

